

さらん日記 byさらん



が接近
しています
皆さん警戒
してください



がこのまま
進めば国民生活に
重大な影響を
及ぼすおそれ



は過ぎてから
思わぬ被害を
もたらします
身を守る行動を
とってください



の中に入る
文字を書きなさい

総裁選

有給クイズ

社員のみなさんへ
売上げの高い順に
並びかえてください。

- ...
- ...
- ...
- ...

全問正解で
有給チャンス

不正回答は
永久追放します。
まずは降格。

自販機会社

昇格クイズ

議員のみなさんへ
従順度の高い順に
並びかえてください。

- 東京都
- 大阪府
- 愛知県
- 沖縄県
- 北海道
- 長崎県
- ...

全問正解で
入閣チャンス

不正回答は
公認取り消します。
まずは降格。

首相官邸

「鴻巣市商工会青年部に中止要請
花火大会で航空ショー」

花火大会になぜ自衛隊機を飛ばすのか?。埼玉県鴻巣市の花火大会は四尺玉が華麗に舞う一大イベントで、市の人口(約11万9000人)を大幅に上回る40万人もの客でにぎわう。東日本大震災以来、秋の実施に変え、今年も10月13日の土曜日に開催予定で、多くの人が「秋の花火」を楽しみにしている。しかし、今年花火大会の前に自衛隊の「航空ショー」が開かれる予定で、これを知った市民に驚きと

不安の声が広がっている。

「鴻巣・憲法九条の会世話人会」や「市民ファーストの花火大会を望む親と市民の会」、全日本金者組合鴻巣支部の市民ら約20人は8月23日夜、鴻巣市本町の鴻巣市商工会を訪れ、花火大会を主催する同商工会青年部に対し「航空ショーの中止」を求める要請書などを提出。島村伸之青年部長と福島芳人・花火大会実行委員長らに直接、疑問や不安の声を伝えた。「(自衛隊の)航空ショーは戦争訓練の一部を「ショー化」させるもので、平和の祭典にはふさわしくない」墜落や部品落下が100

%ないとは言えない。部品だけでも大惨事になる」「そもそもなぜ航空ショーなのか」「集団的自衛権の行使容認や安保法制で自衛官の志願者が減っているが、今回の話は自衛隊から持ちかけられたのか」などの疑問や質問が出た。

島村部長は「航空ショーは大会を盛り上げ客を増やしたいとの思いで、こちらから要請した」「安全には留意するが、何か(事故が)あれば防衛省の方がカネを出すと云っている」「上尾から鴻巣にかけては自衛隊員が少ないのでPRもあると思う」などと答えた。8月15日には日本共産党鴻巣市

議団や市民が花火大会を後援する鴻巣市の原口和久市長宛に航空ショーの中止を求める要望書を提出。主催者側ではこれらの疑問や不安の声を受け「実施するかどうかが検討をしていく」としている。

片岡伸行・編集部

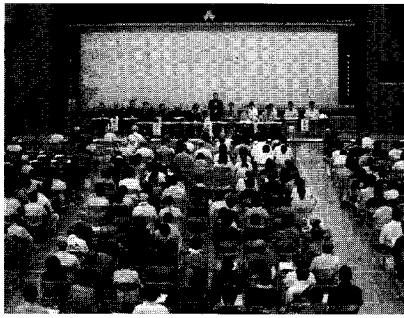
愛媛県野村ダム通り住民説明会
「放流被害は人災だ」

西日本豪雨で大きな被害を受けた愛媛県。西予市にある脇川の野村ダム流域では5人が亡くなり、家屋倒壊などの被害を受けた。被害はダム放流の直後。「人災だ」の声が強まる中、8月9日夜、野村中学校で国、県、市による住民説明会が開かれた。体育館は約700人で満席。冒頭の黙禱の最中から「人殺し」「謝れ」「パフォーマンスカ」などの怒号が飛んだ。説明者は資料を配り、「規則通り操作した」「予想外の雨で……」を繰り返した。国土交通省の川西浩二野村ダム管理所長は「記録的豪雨を予測できず、事前放流量を増やせなかった」などと釈明した。質疑で「人災なんだから100%補償すべきだ」と訴える女性には拍手が湧いた。終了近くに立ち上がった入江須美さん(51歳)は「危険を知らせてくれれば夫は死なずに済みました」と訴えた。自宅で印刷業を営む夫義彦さん(当

59歳)は流された愛車から遺体で発見された。遺影を抱いた須美さんは「小さなダムなので早めに減らすべきだった。伝え方はどうだったのか。通常の6倍も流すと聞いていれば夫は早く逃げたはず」と訴えた。

ダム建設時に町長だった池田忠幸氏(91歳)は「マニュアル通りの操作しかできないことが情けない。耕作面積も人口も減っているのに灌漑のために満杯しておく必要はなかった」と指摘した。

ダムの大量放流が国から市に告げられたのが6時8分。市が5時10分に出した避難指示も緊迫感はなく、6時20分に放流されてしまった。危険通知の遅れに管家一夫市長は「混乱した状況でそういう判断ができなかった。深くお詫び申し上げる」と謝罪した。国も自治体も高位置に膨大な水を貯めておく怖さへの認識が甘すぎた。



中学校の体育館で開催された説明会。8月9日、愛媛県西予市野村町。(撮影/栗野仁雄)

の犠牲者を出した大洲市でも説明会が行なわれる。

栗野仁雄・ジャーナリスト

武器貿易条約の締結国会議 実効性高まらぬ議論

8月20日〜24日まで、ホテル椿山荘東京で武器貿易条約(A T T)第4回締結国会議が行なわれた。日本が議長国となり、高見澤将林軍縮会議日本政府代表部大使が議長を務めた。A T Tは2013年4月の国連総会で採択され、14年12月に発効。現在までに97の国・地域が締結国となっている。

A T Tの肝は第6条と第7条。締結国が、条約で規制対象となっている通常兵器が輸出先でジェノサイド(大量虐殺)や人道に対する罪などの実行に使用されるだろうことを知っている場合や、国際人道法や国際人権法の重大な違反の実行や助長に使用される著しいリスクがあると判断した場合に、締結国は武器輸出を許可してはならないことが盛り込まれている。

武器輸出反対ネットワーク(N A J A T)からは11人が参加。会場内で「軍産複合体にNO!」の横断幕を掲げ、参加者に英文のチラシを配ったり、代表団の席に置いたりした。内容の柱は、イエメンを無差別空爆する紛争当事国の一つであるアラブ首長国連邦(U A E)

辺野古の土砂投入でジュゴンの生息が危機

辺野古新基地建設(沖縄県名護市)の海面埋め立てで、周辺海草藻場を餌場とする国の天然記念物・ジュゴンの生息に危機が迫っている。8月13日には、海洋生物学者の向井宏・北海道大学名誉教授が京都市内で講演(No Base! 沖縄とつながる京都の会主催)し、国際的な稀少種保護の緊急性を訴えた。

哺乳類で人魚伝説の元とされるジュゴン。インド洋や西太平洋に生息するが各地域で激減、沖縄本島はその北限で環境

省は絶滅危惧種1 Aに指定する。本島周辺での近年の確認はわずか3頭。うち1頭は工事進展とともに行方不明に。

向井さんは、辺野古・大浦湾は沖縄本島では最大の海草藻場が広がり、ジュゴンの食跡が何カ所も確認されたと説明。森と川、マングローブ、サンゴ礁が育む生物多様性に富む「本当に貴重な海」と指摘した。約260種の絶滅危惧種を含む約5300種もの海洋生物が生息する。

こんな「いのちの海」を国は護岸が完成した個所から土砂を投入すると県に通告。海草藻場やサンゴ礁が「埋め殺し」され、取り返しがつかなくなる。

向井さんは「この海を守らなければ、生物多様性条約(日本は1993年、締結国)も守れない。戦争の基地を造るために、私たちの税金でこの自然を壊そうとする。なのに、ジュゴンの保護予算はゼロ。このままでは絶滅する」と憤った。

文・写真/土岐直彦・ジャーナリスト



辺野古埋め立て工事がジュゴン生息に大きな悪影響を与える可能性があると話す向井宏さん。

への川崎重工工業製軍用輸送機C2の輸出計画を断念せよというものの輸送機は規制対象外とはいえ、A T Tの理念に反すると批判した。こうした活動はN G Oが勝ち取ってきた成果であり、海外N G Oは本会議でも発言していた。

肝心の会議だが、報告された各国声明は型通りのものが多く、退屈だった。コスタリカなどごく一部の政府は、国名は挙げなかったものの、A T Tの6・7条に抵触するサウジアラビアへのイギリス

などの武器輸出をやめるべきだと述べた。会議直前にイエメンで、子どもたちの乗ったバスがサウジアラビア主導の連合軍の空爆を受け、40人の子どもが虐殺されたばかり。しかし、今までと同様に今回も、こうした条約違反は議題にならず、スルーされた。

透明性に欠ける報告書の様式についても改善は見られず、総じて、大きな進展のない会議だった。

杉原浩司・武器輸出反対ネットワーク(N A J A T)代表